

上唇小帯について

上唇と歯茎をつなぐ「すじ」のことです

「歯の健康教室」は、スマートフォンでもご覧いただけます。



上唇小帯（じょうしんしょうたい）とは上唇（うわくちびる）と歯茎をつなぐ「すじ」のことです。

●正常な位置



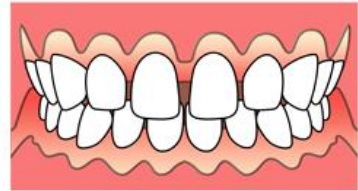
●長い場合



1歳6ヶ月検診や3歳児検診などで問題ありと指摘されることもあるようですが、上唇小帯の位置の異常で問題となるのは、次の2つです。

〔1〕正中離開

歯と歯に入り込んだ「すじ」が原因でいわゆる「隙っ歯（すきっぱ）」になってしまうことがあります。



〔2〕仕上げ磨きがしにくい

仕上げ磨きの際に、痛くていやがる場合があります。対策としては、指で「すじ」を覆うように保護して前歯を磨きましょう。

治療法

ほとんどの場合、この上唇小帯は成長とともに上の方に上がって、問題のない位置に落ち着くため、大人の前歯が萌出してくる6歳～7歳まで、経過を観察します。その後、必要があれば、麻酔をして上唇小帯を切開することがあります。

長さや太さには個人差がありますので、ご心配な方は一度、歯科医院にご相談いただくことをおすすめします。

